

平成26年8月の「大阪森林便り」

農林・漁業と発電 合体 — 新電力のエナリス

間伐材燃料 温水をウナギ養殖に



新電力のエナリスは、林業、漁業、農業など地元の一次産業と発電事業を組み合わせた再生可能エネルギー発電所の建設に乗り出します。

第1弾として、大分県佐伯市に林業で発生する間伐材を燃料とするバイオマス（生物資源）発電所などを建設。発電時に発生する温水で地元漁業者がウナギ養殖に進出します。

(2014年7月24日 日本経済新聞記事から抜粋)

府内産木材加工に助成 — 京都府 林業の活性化狙う



京都府は、森林組合や民間企業を対象に、府内産木材を加工する機械の導入費や、木材加工品の開発費を半額助成する制度を設けます。伐採に必要な経費の助成も拡充します。

(2014年7月30日 日本経済新聞記事から抜粋)

